

(2) 住みよい環境をつくる

町の下水道計画

家庭で使われたよごれた水を川に流すと、いやなにおいがしたり「蚊」などがふえる原因になります。よごされた水の処理は人々の健康を守るうえからも大切なことです。

町では、し尿を処理する施設をつくり、下水管で家庭とつなぐ計画をたてています。

全部完成するまでは、長い年月がかかりますが、最初のモデル事業として、いま入倉地区で工事が進められています。



入倉地内で工事中の農業集落排水施設

新しい住宅地

磐梯町では、町内に家をつくって住みたいと希望している人々のために、住宅地をつくって売る計画を進めています。

いま、大寺の山道地区で約19,000平方メートルの住宅地造成工事が

完成しました。この住宅地には買いものができる施設や緑地帯もできる予定です。



山道地区の宅地造成工事